

紫香楽病院 看護便りvol.3



令和7年1月発行
看護便りVol.3 (2025)
発行所：紫香楽病院
紫香楽情報発信プロジェクト
TEL：0748-83-0101/FAX：0748-83-1262

3階病棟では、10月に患者さんの同窓会参加へのご希望がありました。紫香楽病院は、入院中でもその人らしい生活への支援を大切に考えており、ご希望に沿えるように外出支援を実施しました。人工呼吸器をつけた患者さんであり、電動車いすを使用しました。



移動中
苦しくないかな～



ご家族や多職種との連携を図り、車椅子移乗やバッテリーでの呼吸器可動、吸引器の使用の確認を行いました。

「大戸川の流れも澄んでいて
なかなかの旅気分でした！」



9月には、当日に安全
安楽に外出が実施できるように、信楽公民館にお試し外出を行いました！

同窓会には無事参加することができ、患者さんからは感謝の言葉とたくさんの笑顔をいただきました。

外出に向けて、患者さんの意見を取り入れるためにご家族やたくさんのスタッフに協力していただきました。

安全安楽を考えた支援や視線入力用パソコンの活用、ポジショニングなど何度も話し合いを重ねました。



「皆さん、お会いできて
うれしいです！」

「柔軟に対応してくだ
さり助かりました！
ありがとう！」

入院中は、自宅での生活と比べ制限も多く、同じような生活を送ることが困難な場合もあります。

当院では、理念にもあるように、患者さんの尊厳を大切にして、誠実に真摯に向き合い、「その人らしく生きていただくために」日々研鑽に努め、多職種との連携を行っています。

今回の外出での経験を活かして、引き続き患者さんの意思決定を支援していけるように取り組んでいきたいと思えます。

